



男子団体 躍動感ある演技で14年ぶりに優勝した盛岡市立＝北上市・トヨタ紡織東北サンシャインアリーナ



男子団体を制し喜ぶ盛岡市立

3月の全国選抜は6位、インターハイは21年の3位以来の表彰台を目指す。志知主将は「今日もミスはあった。優勝に満足せず、美しい演技を追求したい」とレベラップを語った。(斎藤 浩)

盛岡市立の5人は恩の介主将(3年)は「やっと合った躍動感あふれる演技できたことが評価され、2012年から頂上を走り抜けた」と喜びをなみしめた。点を守ってきた青森山田を19・100点をマークし、2位青森山田を0・450点上回った。斉藤

技術と正確性 妥協せず追求

新体操

〔北上市・トヨタ紡織東北サンシャインアリーナ〕
〔男子〕
△団体 1.盛岡市立 志知真之
介 瀬川将永 無谷祥 熊井瑞元
中屋敦佑也 19・100点2番

盛岡市立14年ぶりV男子

出18・600点3番取(高橋)
15・100点4番取(宮城)11・
500点5番取(山形)8・8
500点6番取(青森)7・50
0点
〔女子〕
△団体 1.郡山女大付 福島
20・050点2秋田北17・600
点3岩手県立16・100
点4盛岡市立13・5
50点5青森山田13・400点
盛岡13・300点9盛岡北9・
050点